

令和6年度食育チャレンジシート 集計結果

別紙

取組期間：令和6年11月～令和7年1月のうち任意の7日間

県内全体の参加・達成状況

	人数	学校数
対象者数※1	54,226	214
参加者数※2	33,765	210
達成者数※3	26,296	-
参加者率	62.3%	98.1%
達成者率※4	77.9%	-

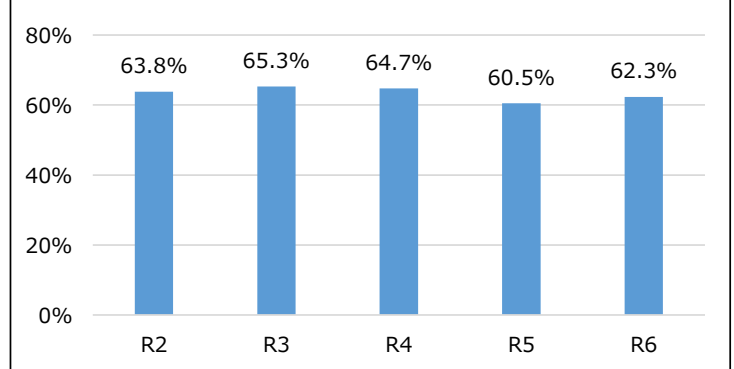
※1対象者数：国立、公立、私立、特別支援学校小学部児童の合計

※2参加者数：チャレンジシートを提出した児童数

※3達成者数：○の合計数が15個以上の児童数

※4達成者率：参加児童数に対する達成者数

(参考) 参加率の推移



チャレンジした感想

小学生からの感想

- 「いただきます」「ごちそうさま」を言うと気持ちよくごはんが食べれました。
- 朝ごはんを毎日食べると、頭痛や気持ち悪さが減って楽になりました。
- 早寝早起きをすると、1日すっきりしていただけるけれど、遅く寝ると1日ぐったりとするということがわかった。
- チャレンジしてみて、私は野菜不足だったので、これから野菜をしっかり食べようと思いました。
- 外出していると野菜の入った食事ができないことがあるので、出掛けていても野菜を食べるようにしたい。
- 味わって食べると、かむ回数が増えて、いつもよりおいしく感じた。
- おやつを決めることを続けたい。
- 旬の野菜が甘くておいしかったです。
- お父さんとカレーを作ったが、かなり時間がかかりました。でもそのカレーはいつものカレーより美味しかったです。
- おこめときはたのしかったけど水がつめたかった。
- はしが正しく持てなかったけれど、持てるようになってよかった。
- テレビを見なければ、家族みんなと話をすることができて、楽しい食事ができるようになった。
- 1日に約103g食品ロスがあるのがびっくりした。これからも残さず食べたいです。
- 給食でも出る「めった汁」が郷土料理だと知った。
- お家の人から「ありがとう」「助かる」と言われて、自分も家族も笑顔になったので、これからもお手伝いを続けたいです。
- お母さんの大変さがわかったから、できることはお手伝いをして、メニューも案を出したりしたいと思った。

おうちの方からの一言

- ◆ 家族で食事について考えるよいきっかけになったね。
- ◆ 率先して食事のお手伝いしてくれたので、とても助かりました！
- ◆ 自分からすすんでお手伝いしてくれたり、目標を達成しようとする姿が見られてよかったです。
- ◆ "食べる"ということの大切さ、ありがたさを忘れないでね。
- ◆ 大地震を経験して、これまでの当たり前に行っていた調理できる環境に戻り、食事が食べられることに感謝だね。
- ◆ 野菜が入った食事を3食作る大変さやバランスの良い食事の大変さがわかったね。
- ◆ 作る側も栄養を考えてバランスのよい食事を作るよう心がけます。